

今後の感染拡大予防対策等について (新型コロナウイルスの特徴から見た対策)

京都府立医科大学
附属病院 感染対策部
藤田直久

まとめ

1. 発生状況

2. 感染症の特徴

1. 潜伏期間: 2~14日間
2. 再生産指数: $R_0=2.2$ (95%CI: 1.4~3.9)
3. 死亡率: 中国2.3% vs 世界0.3%
4. 感染性: 発症前からありそう・・・いつからは不明
5. 感染性期間: 不明
6. 感染経路: 飛沫と接触による感染
7. 臨床症状: 上気道症状から肺炎へ
8. 治療: 確立された治療法はない

9. 感染予防対策: 感染経路から見た対策

1. 飛沫・接触感染予防策: サージカルマスクと手指衛生
2. 手洗いと咳エチケット
3. 特殊な状況でのエアロゾル発生時: N95 マスク

新型インフルエンザと新型コロナウイルスと重症急性呼吸器症候群(SARS)

	2019 nCoV	H1N1pdm	SARSCoV
治療	なし	抗インフル薬	なし
潜伏期間	2-14	1-5	
感染経路	飛沫・接触	飛沫・接触	飛沫・接触 時にエアロゾル
感染性	？(発症前から)	発症前日	発症後
無症状感染	？	20%未満	？
死亡率	2.3%(0.3%) 細菌性感染の合併	0.02%	約10%
診断	PCR(6時間)	迅速IC(15分)	PCR
再生産指数	1.4-2.5	1-4	2-5

新型コロナウイルス感染症対策

知らせる

- ・府民への適確な情報提供(予防策含め)

早く見つける

- ・疫学的リンクがなくても臨床的に疑われる。
- ・検査(PCR)を迅速に

減らす

- ・流行地への不要不急の渡航を控える。

拡げない

- ・適切な感染予防対策
- ・疑い・確定患者の収容または自宅待機

治す

- ・重症患者の集中治療

報告と調査

- ・確定例の届出と疫学調査

新型コロナに

かからないための3つのポイント

● 手洗い、＋乾燥（手指消毒）

● 咳エチケット

● 手で鼻口目に触れない

手洗い+乾燥



One Minute

Kleenex[®] HAND TOWELS

手指乾燥はペーパータオル



1 Wet Hands & Forearms



2 Soap Up, Rubbing Palm to Palm



3 Rub With Fingers Interlaced



4 Massage Between Fingers



5 Scrub With Fingers Locked

手掌と手背、指の間も、爪先の部分も



6 Rub With Thumbs Locked



7 Rinse & Dry Thoroughly



8 Dry Palms & Backs Of Hands



9 Work Towel Between Fingers



10 Dry Around & Under Nails

Sponsored by  Kimberly-Clark

7

Wash & Dry

WHO「マスクは予防にならない」「パンデミックでなく『インフォデミック』」 新型肺炎

https://kenkyuukai.m3.com/sys/admin/admin_login.asp

WHO warns we're in a coronavirus 'infodemic'--an epidemic of too much information

It's important to stay informed about a global health story like coronavirus—but rumors can be dangerous.

By Christine



記者会見したWHOのグローバル危機準備担当局長シルピー・ブリアン医師は、新型コロナウイルスを巡っては、警戒レベルが最高度の世界的大流行を意味する「パンデミック」ではなく、根拠のない情報が大量に拡散する「インフォデミック」が起きていると指摘。

家族が看病する場合など、近くで症状がある人の飛沫（ひまつ）を浴びる可能性がある場合には、マスクも一定の効果があると考えられている。しかし野外などでは、マスクでは十分には予防できないとの意見が一般的だ。

マスクには2種類ある 1.相手を守るためのマスク
2, 自分を守るためのマスク

病気でないヒトのマスク着用による
予防効果は認められていない。マスク
単独でのインフルエンザやかぜなどの
予防効果は示されていない。

(BMJ. 2015 Apr 9;350:h694)

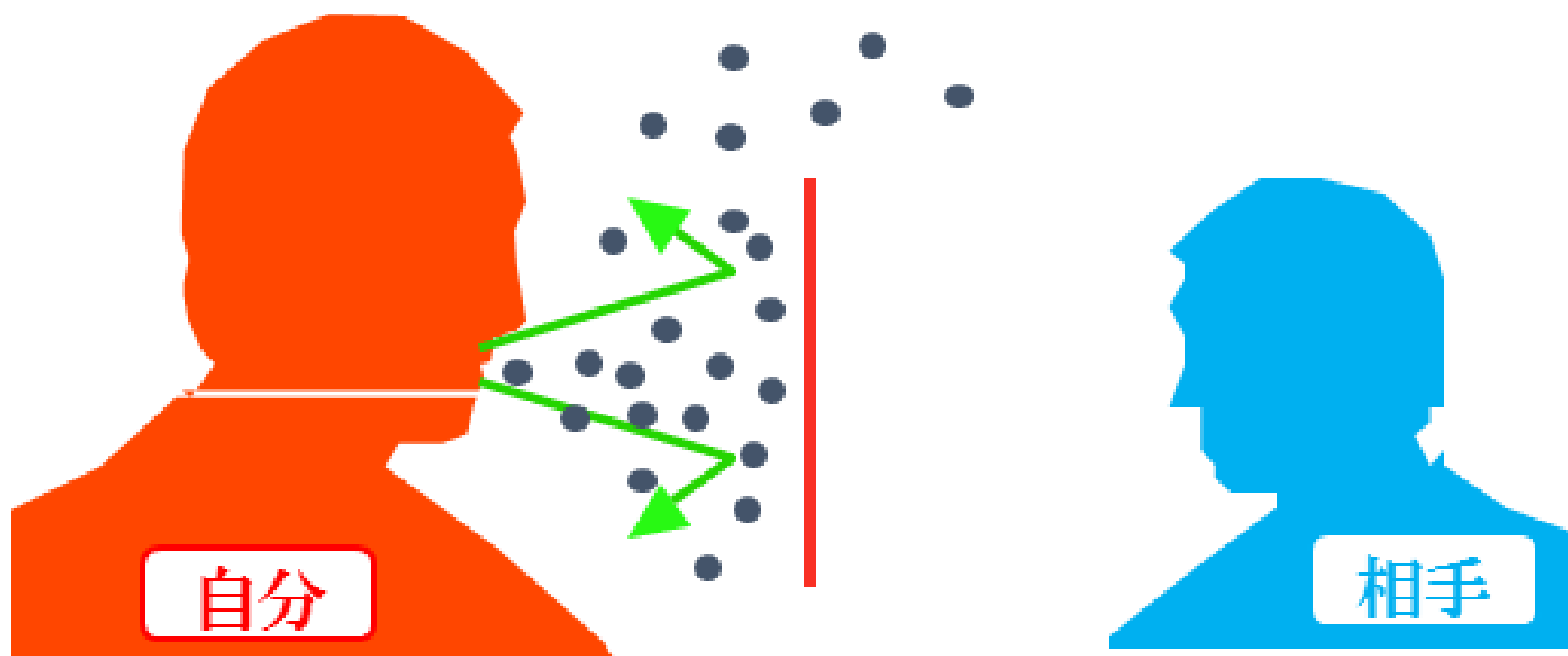


手洗い・手指消毒とのコンビネーションが必要

マ
ス
ク

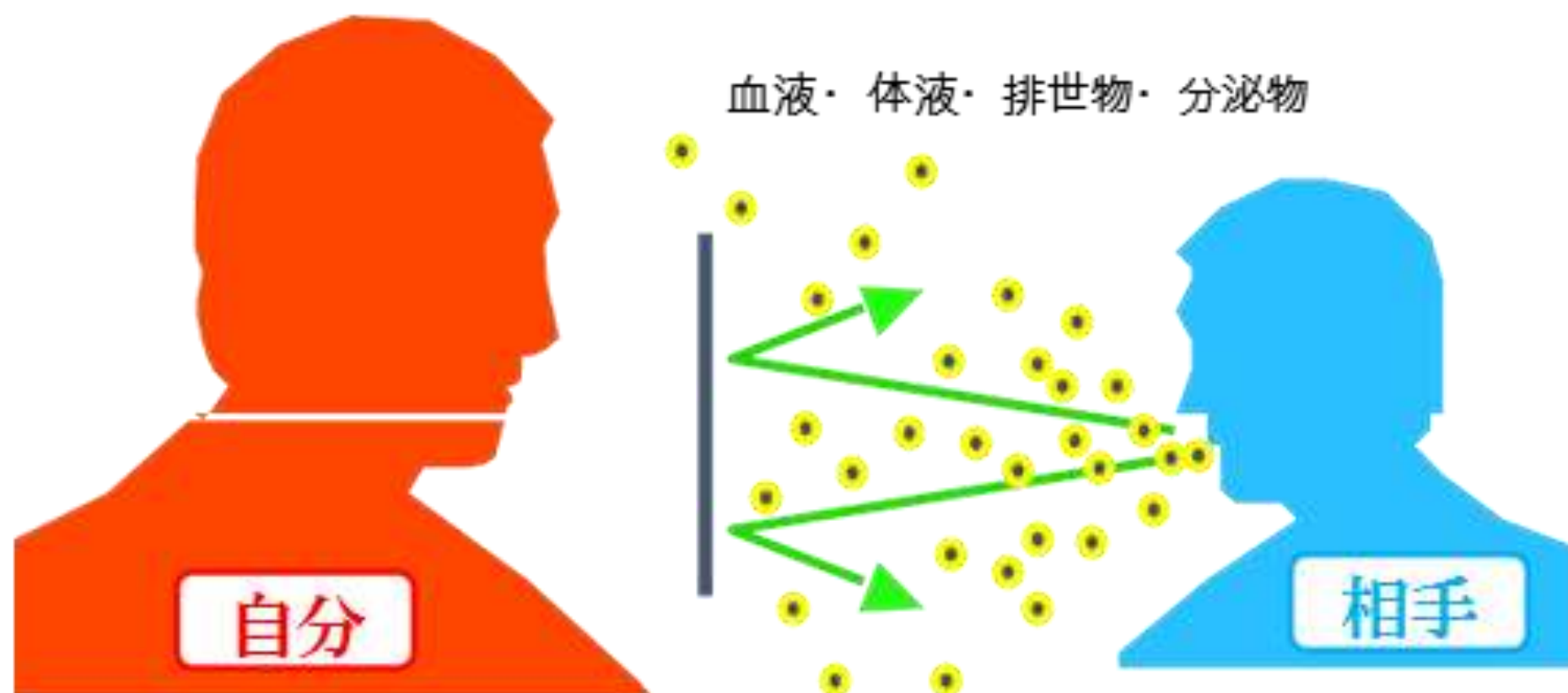
物理的バリアーとしてのマスク

- 相手に害を与えない
- 咳エチケット：**咳が出るときはマスク**



物理的バリアとしてのマスク

- ・ 自分が害を被らないため



N95 マスクとサージカルマスクで、 感染率に差はない

JAMA. 2019;322(9):824-833.

- 外来での医療従事者において、インフルエンザ感染率について両者に差はない。
- N95 vs サージカル
 - インフルエンザ確定例 8.2% vs 7.2%
 - 呼吸器感染症(PCR陽性) 差なし
 - インフルエンザ様疾患 差なし

Clin Infect Dis. 2017 Nov 13;65(11):1934-1942.

- RCTのメタ解析では、いずれのマスクも呼吸器感染症に防御効果あり

CMAJ May 17, 2016 188 (8) 567-574

- 6つの臨床研究についてメタ分析にて、両者の差を認めなかった。

マスクの着脱

1. マスクは正しく着用する。
2. マスク着用中はマスクに触れない。
3. マスク本体に触れないよう、ゴムを持って外す。
4. マスクを外したら手指衛生を必ず。
5. マスクが湿ったらすぐに交換する。
6. 再使用しない。

マスクは必要時に着用し、不要になれば外す！

咳エチケット



咳やくしゃみをするときは？



感染予防対策

感染経路：飛沫・接触感染

特殊環境でエアロゾル(空気感染)

予防策

飛沫感染予防策

マスク

接触感染予防策

手袋、ガウンまたはプラスチックエプロン

眼部保護

フェイスシールド、ゴーグル

エアロゾル発生時

吸引、挿管、検体採取時

N95マスク



手洗い
と十分な乾燥
または
手指消毒

環境整備